



プラグイン1.0(4)以降のインストールと UCS ドメインの登録

この章は、次の項で構成されています。

- [vRealize Orchestrator 7.x 用プラグイン 1.0\(4\) 以降のインストール, 1 ページ](#)
- [UCS ドメインの登録, 2 ページ](#)

vRealize Orchestrator 7.x 用プラグイン 1.0(4) 以降のインストール

はじめる前に

VMware vRealize Orchestrator 7.x をインストールします。VMware vRealize Orchestrator 7.x のインストールまたは 7.0.x へのアップグレードについては、『[Installing and Configuring VMware vRealize Orchestrator](#)』を参照してください。

手順

- ステップ 1** vRealize Orchestrator 用 Cisco UCS Manager プラグインのインストール ファイル vmoapp をダウンロードします。
- ステップ 2** vRealize Orchestrator のウェルカム ページを開きます。
- ステップ 3** [Orchestrator Control Center] をクリックします。
- ステップ 4** アプライアンスのインストール時に付与されたログイン クレデンシャルを入力します。
- ステップ 5** [Plug-Ins] までスクロールダウンして [Manage Plug-Ins] をクリックします。
- ステップ 6** [Manage Plug-Ins] ページで [Browse] をクリックし、頒布可能 .vmoapp ファイルの保存場所フォルダに移動して、[Open] をクリックします。
- ステップ 7** [Accept EULA] を選択して [Install] をクリックします。

インストールされているプラグインが [Plug-in] リストに表示されます。インストールが完了したら、変更を有効にするために Orchestrator を再起動します。

- ステップ 8** [Startup Options] をクリックして、Orchestrator を再起動します。
ホーム ページから Orchestrator を再起動することもできます。
- ステップ 9** [Startup Options] ページで、[Restart] をクリックします。
再起動後、vRO サーバにプラグインがロードされるまでに数分かかります。

UCS ドメインの登録

設定ワークフローを実行することにより、VMware vRealize Orchestrator 用の UCS ドメインを登録できます。

はじめる前に

Java 8 以降をインストールします

手順

- ステップ 1** vRealize Orchestrator クライアントにログインします。
- ステップ 2** ツールバーの [Workflows] をクリックします。
- ステップ 3** [Cisco UCS Manager] > [Configuration] > [Add a UCS Domain] に移動します。
- ステップ 4** [Start Workflow] アイコンをクリックして、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[UCS Manager Host/IP] フィールド	UCS Manager サーバの IP アドレスまたはホスト名。
[User ID] フィールド	UCS Manager のユーザ ID。
[Password] フィールド	UCS Manager のパスワード。
Use Unsecure Connection (HTTP)	Cisco UCS Manager へのセキュアでない接続を使用するかどうか。
[Connection Port] フィールド	セキュア接続ポート番号。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

ステップ 6 UCS Manager サーバの証明書を受け入れます。Cisco UCS ドメインが登録され、vRealize Orchestrator インベントリに表示されます。
